

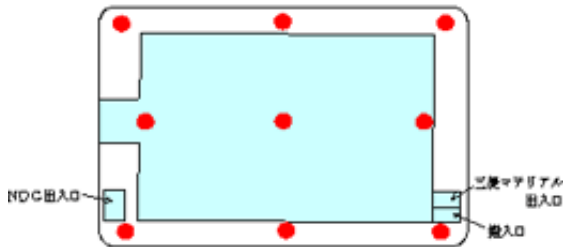
1. 目的

旧核燃料試験研究施設の整備に伴って発生した放射性廃棄物（注）を保管管理しております。現在、これら放射性廃棄物の処理・処分に向けて、国、関係機関、民間企業等が一体となって取り組むべく検討が進められております。この保管庫は、処分が可能となるまでの間、放射性廃棄物を保管するものです。（注）核燃料物質の使用施設等で発生したものは「研究所等廃棄物」に分類されます。

2. 概要

- (1) 構造 鉄筋コンクリート地下2階
- (2) 深度 約17m(概ねビルの4階分)。地上部から地下2階床面までは約14m
- (3) 床面積 地下1階、地下2階とも、約3,300m²
(壁部分を含めた長さは、東西約72m×南北約48m)
- (4) 平面図

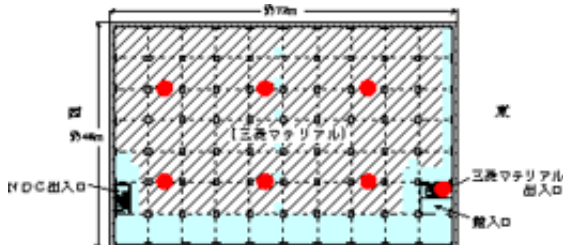
(地上部)



(地上部の状況)



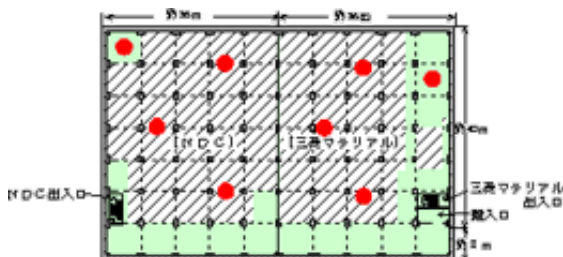
(地上1階)



(地下1階の保管状況)



(地下2階)

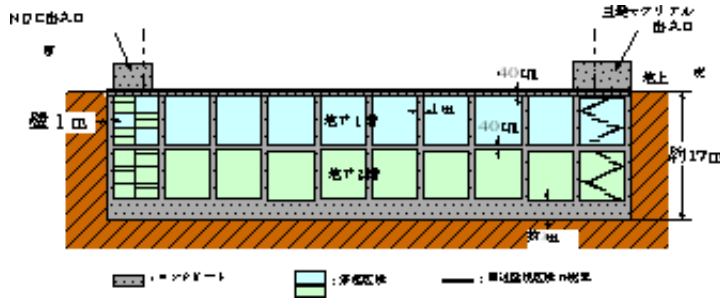


(地下2階の保管状況)



▨ : 主な測定点 ● : 収納済区画

(5) 断面図



(6) 保管量

	収納容器の種類	個 (本)
三菱マテリアル	角型容器 (200L ドラム缶換算)	3,584 (28,950)
	200L ドラム缶	(152)
NDC	角型容器 (200L ドラム缶換算)	1,180 (8,850)

(200L ドラム缶換算総本数 : 37,952本)

3. 安全対策と日常の管理

項目		内容
安全対策	放射線防護	コンクリートの厚い壁と床によって遮へいされます。
	地震対策	最新の耐震設計基準に基づいております。
	火災対策	自動火災報知設備、屋内消火栓及び連結散水設備を設置しております。
日常管理	管理規定	定められた管理規定に基づき管理を行っております。
	管理区域の設定	保管庫内は放射線管理区域とし、入室する際は個人被ばく管理を行っております。
	周辺監視区域の設定	地上部との境界を周辺監視区域境界とし、みだりに立ち入らないように管理しております。
	放射線測定	管理区域内における放射線量を定期的に測定しております。また、地上部の周辺監視区域境界においても放射線量を定期的に測定しております。(いずれも毎月1回)
	放射性物質濃度測定	地下からの湧水などの排水中の放射性物質濃度を定期的に(毎月1回)測定しております。
	換気	給排気装置を運転し、保管庫内の空気の入れ換えを行っております。
	点検作業	保管庫の状態及び放射性廃棄物の保管状態を定期的に(毎週1回)点検しております。

4. 情報公開

相談室の常設	「近隣の皆様の相談室」は、引き続き設置し、各種お問い合わせにお答えしていくとともに、情報公開を行なって参ります。
見学会開催	毎年、9月の「防災の日」の前後に、近隣の住民の皆様には保管状況を見て頂く見学会を行ないます。
確認事項	「放射性物質及び放射性廃棄物」の外部からの持ち込みは行ないません。

5. 放射線測定の結果（平成17年4月～平成18年8月）

場 所	測 定 値	備 考
地 上 部	0.03 μ Sv/h～0.07 μ Sv/h	周辺監視区域境界
地下1階	0.04 μ Sv/h～0.15 μ Sv/h	管理区域内
地下2階	0.04 μ Sv/h～2.10 μ Sv/h	管理区域内